

# 第46回「てのひら文庫賞」岐阜県読書感想文コンクール

## 最優秀賞・岐阜県知事賞 作品

### 最優秀賞・岐阜県知事賞

3年自由図書部門／読んだ本・たった2℃で…地球の気温上昇がもたらす環境災害

## 「たった2℃で…」

岐阜市立徹明さくら小学校 山本萌

私は、「たった2℃で…」という題名を見た時、「たった」というのは、どういう意味なのだろう。と、ぎ間に思い、きょう味を持ちました。この本を読んで私がとてもびっくりした事は、魚にとって2℃は、人間が感じる20℃くらいの大きなちがいがあ

る事です。ここで思った事は、人間は、自分で体温を調整つ出来るけれど魚たちは、体温を調整つ出来ないのととても心ばいになりました。人間の私は、2℃体温が上がったら体の具合がとても悪くなります。魚たちの事を考えたら、おねがくるしくなりました。魚たちの事をしんけんを考えなければいけません。他にもおどろいた事はたくさんあります。中でもサンゴしょうは海水の温どが2℃上がると白くなって死んでしまう事です。サンゴのねんえきを食べていた生き物がいなくなり、さい後は死の海になってしまふ事を想ぞうして私は、「今すぐにでも何とかしないと!!海の生き物が全めつし

てしまう!!」と、とてもあせった気持ちになりました。

「たった2℃上がっただけで、こんなにもかわってしまった事をみんなは、知っているのかな?みんなできょう力して、地球温だん化をふせがないといけない。」と強く思いました。一番おねがくるしなくなった所は、チョウが出て来た所です。私は、小さいころからチョウや花が大好きです。今年の春は、モンシロチョウをたまごから育てました。よう虫になり、キャベツを食べているすがたがかわいくてチョウになった時は、とても感動しました。チョウのよう虫が食べる野草いや植物も気温が高すぎたりひくすぎたりするとよく育ちません。とくにチョウのよう虫は、食べる物の好ききらいがあるので、好きな食べ物があるのと死んでしま

がら、たった2℃上がっただけでチョウもいなくなってしまう事がとても悲しくなりました。「私が今、地球温だん化のために出来る事は何だろう。」と深く考えました。エアコンの温どなどのせつ電せつ水、リサイクルについて考える事、ゴミをへらす事を毎日考えながら生活するようになりました。手をあらう時やティッシュを使う時にこの本の表紙の悲しい顔をした動物たちを思い出すので、気をつけようというも思っています。この先、地球から人間の私も、私の大好きな動物やこん虫、植物がえいえんにきえてしまわないように一人一人が気をつけなければなりません。ゴマフアザラシやウミガメ、ジャイアントパンダなどの話もとても心にのこる話ばかりなので、多くの人に、この本を読んでほしいと思いました。そして「たった2℃」でも、「たった」ではすまされない、大へんな事が世界中でおきている事を考えながら行動していきたいです。